

～街のインフラとなる将来像に向けて、川崎市道を空中配送ロボットが横断～
パナソニック ホールディングス、東急、UR都市機構
空中配送ロボット実証実験を次のステージへ

パナソニック ホールディングス株式会社（以下、「パナソニックHD」）、東急株式会社（以下、「東急」）、独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」）は、川崎市麻生区のUR虹ヶ丘団地にて、配送業界における人手不足等の社会課題の解決や、少子高齢化が進行する郊外住宅地における買い物の利便性向上とコミュニティの形成による地域活性化を目指し、世界初となる郊外住宅地における空中配送ロボット技術（以下、「空中配送ロボット」）を活用した新たな配送サービスの実証実験*1（以下、「本実証実験」）を、昨年11月から本年6月まで実施してきました。

前回はUR都市機構が所有する敷地内での配送ルートでしたが、今般、2024年10月からは川崎市との連携・協力のもと、前回のルートから分岐し、空中配送ロボットが団地敷地内の同市が管轄する市道（以下、「川崎市道」）を横断し、延伸する形で本実証実験を実施します。首都圏の行政と連携し、空中配送の実証実験を行うのは初めてであり、今後「街のインフラ」となる将来像に向けた重要な第一歩にもなります。

また、市道を横断する今回のルートは、UR虹ヶ丘団地の団地内集会所の入り口まで配送を行うことで、更なる利用者の利便性の向上を図ります。これにより、集会所を活用している住民の方々もサービスを利用しやすくなり、集会所を利用したコミュニティ活性化への寄与も期待されます。さらに、集会所内に設置する会員登録不要のタッチパネル端末からの注文受付も開始すると同時に、支払い方法の見直しを行い、これまでのクレジットカードや一部の電子決済に加え、現金の取り扱いを開始します。

これにより、幅広いユーザーに多様な場面での利用を促進することができ、これまで以上に身近で便利なサービスを目指します。



本実証実験写真



川崎市道横断イメージ（CG）



集会所受取場所イメージ（CG）

【別紙】

1. これまでの経緯

本実証実験を活用した持続可能なまちづくりの推進に向けて、2023年10月13日（金）に三者による連携協定を締結し、2023年11月18日（土）から本実証実験を実施してきました。本実証実験にて、三者は空中配送ロボットの技術およびサービスの効果検証を行い、配送業界における人手不足や配送コストの上昇といった社会課題の解決や、少子高齢化が進行する郊外住宅地における買い物の利便性向上とコミュニティの形成による地域活性化を目指してきました。

2. 今回の実証実験の目的

- ・ 新ルートの配送実施に必要な技術の検討
- ・ 将来的な社会実装に向けた行政との連携手法の検討
- ・ 新たな市場ニーズの検証

3. 新規に実施する実証実験

- (1) 空中配送ロボットの川崎市道横断とそれに伴う関連技術の検証
- (2) 配達先の拡充（団地集会所まで配達）
- (3) 注文方法、支払い方法の拡充（タッチパネル端末での注文受付、現金支払を追加）

実施場所：川崎市麻生区虹ヶ丘2丁目 UR虹ヶ丘団地内

実施期間：2024年10月下旬～2024年12月下旬

上記期間において不定期で運行します。

11月9日（土）に虹ヶ丘団地で開催される「第3弾 虹のまちにわフェス」*2において、空中配送ロボットを運行しますので、一般の方の見学が可能です。

4. 連携自治体

川崎市（道路占用*3許可権者）

※「街のインフラ」となる将来像に向け、川崎市と連携して取り組んでいます。

5. 実証実験の協力者

株式会社東急ストア

東急バス株式会社

株式会社URコミュニティ

株式会社吉野家

以上

*1「パナソニック ホールディングス、東急、UR 都市機構が空中配送ロボットの実証実験に関する連携協定締結」として 2023 年 11 月に発表しました。

<https://news.panasonic.com/jp/press/jn231106-1>

*2「虹のまちにわフェス」とは

虹のまちにわフェスとは、UR 都市機構が、2024 年に市制 100 周年を迎える川崎市と連携して、団地および周辺地域の方に楽しんでいただくため、UR 虹ヶ丘団地の中央広場にて開催するイベントです。

イベントの日時：11月9日（土）11：00～15：00 ※雨天時は翌日に順延

*3 道路占用とは

道路占用とは、道路の地上や地下、空中などに一定の物件や施設を設置して、一般交通以外の目的で継続的に使用することを指します。道路を占用するには、道路管理者の許可（道路占用許可）を得る必要があります。

以上